

## インクルファンドで助成しました わだちえっさほいさ(小平市)

小平地域協議会では、2019年より3ヵ年計画の振り返りを行うとともに、まちに足りない機能や新たに創り出したいしくみなどを出し合い、市民版地域福祉計画を策定しました。

運動グループの機能とつながりを活かし、地域の多様な団体や行政とも連携した、誰もが安心して暮らせるしくみづくりを目標として「相談・情報ステーション・居場所となる場所づくり」、「轍ケアアシシュの片付け事業（居宅清掃、家財の片付け・引き取り、遺品整理、清掃、不用品の回収・処分）立ち上げとの連携」を実行テーマとしています。片付け事業については準備会「おおきな木えっさほいさプロジェクト」を立ち上げ、協議をすすめました。

轍ケアアシシュでは2022年4月より片付け事業を開始し、6月には地域協議会と共に1日限定のプレショップイベントを初めて開催しました。生活クラブのキャラバンやACT たすけあいワーカーズらいふえいどの介護相談コーナーも同時開催、組合員以外にも多くの来場があり地域にお披露目する良い機会と

なりました。今後も引き続きおおきな木プロジェクトで協議しながら、次年度以降にはリユースショップ事業を立ち上げ、引き取り品の販売を行うと共に、地域協議会と連携して地域福祉の拠点となることを目指しています。



地域の運動グループが集まったオープニングセレモニー。インクルファンドでは市民版地域福祉計画に基づく事業の立上げ費用の枠で車輛購入費300万円を助成。

【お問合せ】  
TEL 042-309-6363 / 070-3360-2204  
小平市小川町 1-411-3 ヴィラ・リビエール 1F



## インクルファンド・サポーター登録のお願い

あなたの**1日10円**で、つながり・支えあう豊かなまちを!



サポーターからの月々300円の登録寄付を財源に、居場所づくり、子育て支援、障がい者（児）支援事業など、様々な活動の立上げに助成を行ってきました。ぜひサポーター登録していただき、地域の活動をご支援ください!

● 班・個別配送の方は注文用紙(OCR用紙)に下記6桁の注文番号と申込口数をお書きください。

インクルファンド登録寄付	1口300円
申込期間	9/19(月)~9/23(金)
注文番号	<b>100951</b>
集金月	2022年10月から毎月

生活クラブのインターネット注文 **eくらぶ** インターネット注文 **eくらぶ**からもお申込みいただけます。(9月4回)

\*登録寄付は中止のお申し出がない限り続きます。  
すでに登録されている方が申込みされると10月分の請求が重複してしまうのでご注意ください

● デポ一組合員の方はWEBサイトから <https://www.inclusive-gr.com/supporter/> にご登録いただくかお電話にてご連絡ください。



● お問合せ: インクルーシブ事業連合事務局 Tel:03-5426-5207 Fax:03-5426-5203  
(生活クラブ東京 たすけあいネットワーク事業部内) 担当:平岡 藤田



## 介護保険制度 20年のこれまでとこれから~あなたは介護保険を知っていますか?~報告

### その人の尊厳を守る介護サービスの実践



介護保険は40歳以上の方が保険料を支払っているが、介護保険サービスを利用し始めるのは80歳代からが多い。医療保険とは違って誰でもいつでも使えるものではないため、一般の人にはわかりにくい制度となっている。そこで介護保険制度の変遷と事業者として奮闘してきた運動グループの活動を知ってもらおうと学習会を開催した。

サービスを選択できるよう地域の小規模事業者には、介護サービスを受けたことで利用者の尊厳がどのように保たれているのか、地域に知らせる必要がある、もっとアピールしていく必要があるのではないかと提起された。

### 介護の社会化を実践してきた運動グループの活動

地域の実践として、「ACT たすけあいワーカーズ連合」、「社会福祉法人悠遊」、「ACT 人とまちづくり」から活動報告があった。わかりにくい制度の中で奮闘していること、介護報酬や人材確保の課題、事業所独自の努力、ケアプランの有料化は利用者の負担増になるため、問題であることなどが報告された。

最後に鏡氏から、介護保険制度は私たちの老後を支える制度として大きな財産であること、地域の中で細やかに活動している運動グループの存在は、重要でありもっと地域に広げてほしいとエールをいただいた。

一般の組合員の参加もあり、制度の課題と運動グループの活動を知る機会となった。

認定 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社 工藤春代

### 介護保険の理念は介護の社会化



講師の鏡諭氏(法政大学大学院公共政策専攻科兼任講師)は、国の資料を紐解きながら、制度の変遷と財務省主導により「業務の効率化」及び「経営の大規模化・協働化」、「負担割合」と「軽度移行」などの流れが検討されていることを報告された。

介護保険制度は「地方分権の試金石」と言われ、国の制度でありながらも「基礎自治体」が保険者となり、地域にあった介護保険事業計画が策定できること、3年ごとに見直される事業計画は市民との契約であること。改定時には負担と給付のバランスが議論されるが、それまで家庭内介護で見えにくかった介護を「ケアプラン」を作成することで、どんな介護を希望し利用するのか可視化できるようになった。利用者が介護

## インクルーシブ事業連合 2022年度総会報告

6月25日、インクルーシブ事業連合第11回通常総会を開催し、すべての議案が賛成多数で可決されました。地域協議会による市民版地域福祉計画策定の支援、インクルファンドによる支援等の事業を引き続き行います。



【インクルーシブ事業連合構成団体】生活クラブ生協・東京/NPO法人アビリティクラブたすけあい(ACT)/ACT たすけあいワーカーズ・コレクティブ連合/NPO法人ACT人とまちづくり/社会福祉法人悠遊/東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合/東京・生活者ネットワーク/東京 CPB(コミュニティパワーバンク)/認定NPO法人市民シンクタンクひと・まち社/NPO法人まちぽっと/環境まちづくり NPO エコメッセ



## 講座：クラウドファンディングにチャレンジ！報告

クラウドファンディングとは、不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことを指す造語で、ソーシャルファンディングとも呼ばれ、寄付型、投資型、購入型などさまざまな種類があります。

2022年8月6日、運動グループ団体の継続支援や新たな事業の立上げにつなげるため、クラウドファンディングの手法について学びました。



講師はかまくらさちこ(株)代表取締役、日本ファンドレイジング協会認定ファンドレイザーの鎌倉幸子さん(写真)。現在まで約100件のクラウドファンディングの伴走支援をされています。

### 事前準備が8割！

代表的なプラットフォームの特徴や手数料の比較、目標額やリターンの設定で配慮する点等のお話のほか、公開前に支援者のアタックリスト・メディアへの掲載依頼リスト・応援コメント依頼リスト・情報新着情報トピック案の用意など、事前準備が目標達成へのカギを握るというお話が印象的でした。

### 寂しい公園には人が寄り付かない

にぎわっている場所に人は自然と集まる(祭りの法則)。誰も支援をしていない、盛り上がりが見えないプロジェクトに「知らない人」は支援しにくい。従って事前のお知らせが重要で、募集前に十分にエンジンを温めておいて、スタートダッシュをかけることが大事です。1週間以内に目標金額の30%を達成したプロジェクトは成功率が高いということです。目標金額の7割を超える頃に新規支援者が入ってくる、とのお話もありました。

### オンラインとオフライン、バランスよく活用を

WEBでの発信が苦手でも他の手法を併せて目標を達成した事例などを紹介いただき参考になりました。オフラインは一對一のコミュニケーションであること、直接目にし、手にできるという強みもあります。日頃からの丁寧な関係作りもポイントで、そこからさらに広がりをつくるのが成功へのカギとなります。クラウドファンディングは新しい手法ですが、大事なことは自分たちの目指すことを改めて確認し、周囲に思いを伝え続けることであると改めて感じた講座でした。

インクルーシブ事業連合事務局 平岡晴子

## インフォメーション

### 共に働く場事業所の活動報告会

**働きにくさを抱えた人も  
共に働く場を増やそう！**

10/22(土)14:00~16:00

生活クラブ館スペース1・2 オンライン併用

参加費無料

基調報告：NPO法人VIVIDのフレッシュスタート目白

(就労継続支援B型事業所)

報告者：遠藤伸さん(管理者)

活動報告：共に働く事業所寄付2021年度募集团体

\*昨年度いただいた寄付を活用した活動を報告します。

・NPO法人エコメッセ代表 大嶽貴恵さん

・NPO法人こすもす代表 佐久間博子さん

参加お申込みはこちらから➡



NPO法人VIVID フレッシュスタート目白

### 今年も寄付を募集します

○寄付を募集する団体

環境まちづくりNPOエコメッセ

○目標金額 18万円

○スケジュール

10/17~インクルファンドニュースにてお知らせ

10/24~11/4 1口500円の寄付募集

## 東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合

約40年前から生活クラブの組合員が、地域に必要なと思う事業を自分たちで立ち上げ、働く場を地域に作り出しました。組合員になって出資し、働いて、経営にも参加する。そのワーカーズ・コレクティブの事業は非営利目的。1993年東京のワーカーズ・コレクティブたちが中間支援機能の必要を感じ協同組合を作ったのが「東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合」(以下東京ワーカーズ)です。

現在の組合員は51団体、業種は多岐にわたります。

東京ワーカーズには、支え合う仕組みが2つあります。

- ① 個人を支える「共済制度」：給付金と貸付。福利厚生事業として各種補助、出前講座、サークル活動など。
- ② 団体を支える「支援基金」：個人や団体からの寄付を基金としています。新規立ち上げや事業継続のための費用助成。共済会から賛助会費と寄付金を拠出しています。

これまでにたくさんの団体がこの仕組みを使い、事業継続・拡大に活かしてきました



出番を待つ本棚の前で

「障がい者と共に働く」を事業所のテーマにしている「スーユンタン」は実習生受け入れ費用に助成を活用。古本のネット販売のために、本の査定・ネットショップにアップ・クリーニング・本の出荷の一連の作業を体験しました。今はサブメンバーとして定着しています。これまでに4人に活用できました。



同じく共に働く事業所「コンチェルティノ」は、新たな事業、コミュニティカフェ用のオーニング費用として事業拡大に活用。

パン&カフェこすもす



コロナ禍で展示会事業の背広の売上げは激減。ベストファイブはDM作成費に活用。遠方からの来店もあり「やってよかった」と言われ継続する決意につながっています。

### 東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合 お問い合わせ



電話 03-3207-1941 FAX 03-3207-1945

新宿区歌舞伎町2丁目19-13 <https://tokyo-workers.jp>

【お問合せ先】インクルーシブ事業連合事務局(生活クラブ東京たすけあいネットワーク事業部内)

TEL:03-5426-5207 担当:平岡・藤田